

令和 3 年度ナラ枯れ被害調査報告等について

カシノナガキクイムシが媒介する病原菌によってコナラ等の広葉樹が枯死するナラ枯れ被害は、現在では減少傾向にあるものの、依然として本市でも被害が発生しています。

ナラ枯れの被害状況調査を実施しましたので、その結果について、下記のとおり報告します。

記

1. 調査期間 令和 3 年 8 月 1 日～10 月 3 1 日

2. 被害本数 78 本

3. 被害本数地域別内訳

(単位:本)

区分	出雲南部	出雲北部	平田地域	佐田地域	多伎地域	湖陵地域	大社地域	斐川地域	計
令和 3 年度	19	6	21	6	0	8	0	18	78
前年度	17	12	31	16	7	11	3	17	114
増減	2	▲ 6	▲ 10	▲ 10	▲ 7	▲ 3	▲ 3	1	▲ 36

4. 被害木への対応

- ・公道沿線、公共施設などで市民生活に危険を及ぼす可能性のあるものを優先に除去します。

5. 参考

【県内の圏域ごとの被害推移】

区分	H29	H30	R1	R2	R3
東部	1,713 (209)	1,137 (131)	901 (99)	2,601 (114)	715 (78)
県央	746	67	59	143	61
西部	728	508	430	1,999	2,214
隠岐	1	0	0	21	0
計	3,188	1,712	1,390	4,764	2,990

※最大被害量

区分	H25
東部	4,633 (2,584)
県央	1,738
西部	294
隠岐	0
計	6,665

() は出雲市